

金沢市立押野小学校
平成25年度後期 学力向上の取組

1 学習への構えづくりに向けた取組

(1) 「学習のやくそく8か条」の取組

月初めに強化週間を設け、ポイントを絞って学習の構えを全学級同じ内容で取り組むことで、6年間の育ちを見通しながら、学びへ向かう思いを育てていく。

(2) 学習の構えを育む

授業のはじめ、終わりに「正しい姿勢」「正しい身なり」で学習に臨み、「みんなであいさつ」を行い、できていることを評価することを通して、学習への構えを育てていく。

(3) 学習環境を整える

「文房具」「机まわり」「ロッカー」の約束を全学級同じ内容で取り組む。学習に集中できるように自分の机まわりだけでなく、教室全体の整理整頓を行う。そして、学習履歴の掲示をし児童の考える手だての一つとする。

(4) 定期的に達成状況をふり返る

長期休業前、休業後などに、「学習のやくそく8か条」のふり返りを行い、できているところ、できていないところを明らかにする。学年毎で課題を共有し、取組の改善をすすめていく。また、「学習環境」についても、月初めに確認していく。毎月行うことで、児童の持ち物や整理整頓の意識を高めたい。

- 学習のやくそく8か条
- ① えんぴつをけずってきまず。
 - ② 時間割を合わせてきまず。
 - ③ チャイムがなったら 授業を始めます。
 - ④ したじき、じょうぎを 使います。
 - ⑤ 正しい姿勢で学習します。
 - ⑥ 次の時間の準備をします。
 - ⑦ 聞く人を見て、話します。
 - ⑧ 話す人を見て、聞きます。

2 授業改善に向けた共通した取組

(1) 言語活動の充実を図る

県学力調査、全国学力調査、日々の授業から見出した課題をもとに「平成25年度学力向上策」を定めた。全教科、総合的学習、道徳、特別活動における改善策をもとに、学年の実態に応じて重点的に行う学力向上策を設定するとともに、学校共通の取組 （書く活動を通して、考えを持ったり話し合ったりまとめたりする） を共通理解して取組をすすめている。

ア 国語科

(7) 「反応しながら聞くことができるよう、きちんと聞いている児童を教師が評価する」

「聞くこと」「反応すること」によって仲間とのつながりが生まれること、新しい問いが生まれること、新しい解が生まれることなど、児童の姿とよさをつなげて評価することを心がけていく。

(4) しっかりと声を出すことができるよう定着を図る

ぐんぐんタイムや授業のはじめに、百人一首や詩などの暗唱を楽しく行うことを通して、発表することに自信を持たせたり相手に伝わるような声の大きさを意識できるようにしたりする。

イ 社会科

(7) 「資料を準備し、資料をもとに、学び合う時間を授業中に位置付ける」

学習課題に迫るための資料を読み取る学習活動を必要に応じて位置付ける。また、それらから読み取ったことをもとに話し合う時間を確保し、課題とつなげて考えられるようにする。

ウ 算数科

(7) 「図や式、言葉で表現することができるよう指導する」

自分の考えや互いの考えを図や式、言葉を用いて説明する活動を取り入れる。その際、ペアやグループなど学習形態を様々に変えながら、その機会が多くなるよう心がけていく。

エ 理科

(7) 「課題に対する予想・考え（自己決定）をしっかりともてるようにする」

イメージ図やモデル図などを使い、自分の考えをもつことができるようにする。実験は考えを確かめる方法として捉え、学習を進めるとともに理科の用語を使用してまとめを書くことができるようにする。

(2) 45分の授業の構成を見直す

| | |
|-----|---|
| 始まり | ・正しい姿勢, 正しい身なりを確かめ, みんなであいさつをする |
| 導入 | ・前時をふり返り, スタートラインをそろえる ・資料を準備し, 読み取る学習活動を位置付ける ・課題を明確にし, 本時のゴールを意識付ける |
| 展開 | ・課題に対する予想・考えを書く時間をとる ・図や式, 言葉で表現, 説明できるようにする ・ペアやグループ, または一斉など目的に応じて学習形態を工夫する |
| まとめ | ・学習用語を用いて, 本時のまとめを書く指導をする ・適応問題を適宜用いて, 学習の定着を評価し, 次時に生かす ・仲間との共同によって学習が成立したことを評価し, 次時に生かす |
| 終わり | ・正しい姿勢, 正しい身なりを確かめ, みんなであいさつをする |

■反応しながら聞くことができるよう、
きちんと聞いている子を評価する

3 家庭学習の習慣化に向けた取組

(1) 現状から改善に向けた取組をすすめる

今年度の県及び国の児童生徒質問紙調査, 保護者アンケート等から, 本校児童の家庭学習の習慣が定着していないことが明らかになった。これまでも, 「家庭学習の手引き」を発行し, 保護者の理解を得ながら取組をすすめてきた。その取組に加え, 今年度も定期的に「家庭学習の習慣化 親子でチェック!」を行い, 評価・分析し, 児童・家庭・学校の三者で, 家庭学習の習慣化を今後も図っていく。

(2) 自由勉強のあり方の提示と評価の充実を図る

「自由勉強」の例をより具体的に示し, 児童のよい取組を評価し広めながら, 「自由勉強」の充実を図っていく。読書の推奨も行う。

(3) 育友会との連携と協力体制を構築する

育友会と学校とが連携し, 子どもの生活面や学習面に積極的にかかわっていけるようにする。取組を提示し, 協力を仰ぎながら, 家庭での悩みや思いを受け止め, とともに子どものよりよい成長に向け取り組んでいけるよう協力体制を構築する。

おうちの「学習」はしっかりできているかな?
第1回 親子で学習チェック!
 ■実施日 10月29日(月) 4年 組 第 〇 教室

■おうちの人のこと(1)と(2)にたしめましょう。
 ○ちゃんとできている。◎思い通りにできている。◎◎あんまりできていない。△ぜんぜんできていない×
 ■おうちの学習は, おうちの人の協力もあって, 一緒に進めましょう。

| 日(曜日) | 1 | | 2 | | 3 | | 4 | | 5 | |
|------------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| | お母さん | お父さん | お母さん | お父さん | お母さん | お父さん | お母さん | お父さん | お母さん | お父さん |
| 10月 22日(月) | | | | | | | | | | |
| 10月 23日(火) | | | | | | | | | | |
| 10月 24日(水) | | | | | | | | | | |
| 10月 25日(木) | | | | | | | | | | |
| 10月 26日(金) | | | | | | | | | | |
| 10月 27日(土) | | | | | | | | | | |
| 10月 28日(日) | | | | | | | | | | |

■おうちの学習

お母さんからのコメント

おうちの人のからの一言

親子でチェック!(4年生版)

4 かかわりづくり, かかわりの深まりに向けた取組

授業におけるかかわりの構築はもちろん, 学校教育全般において, 児童相互のかかわりをつくり, 深める取組をすすめていく。かかわりながら学び, 学びながらかかわりを深めていく集団をめざしていく。

(1) たてわり活動を充実し, あこがれをつくる評価を行う

役割を明確にして1年生から6年生までが責任をもって活動に参加できるよう計画・実施し, 視点を明確にしたふり返りを充実させていく。かかわりの中で楽しかったこと, がんばれたこと, よかったことを交流していくとともに, 活動の成立の要因を話し合う中で高学年へのあこがれを育てていく。

(2) ボランティア活動を推進し, 充実させる

学校全体で, みんなの役に立つボランティア活動を推進し, 皆と一人一人をつなぐ豊かなかかわりを育てていく。また, 育友会とも連携し, 親子資源回収やバザーなどでもボランティア活動を位置付けていく。それらの活動を多くの仲間の役に立ったり, 自分自身の喜びとなったりする行為と価値付け, 一人一人の自己存在感を高めるとともに, かかわりの中で学ぶよさを感じられるようにしていく。

(太字ゴシックは, 特に重点的に取組)